

園長だより



みどり



幼保連携型認定こども園

No.1 2

宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 園長 久島 孝昭 R2. 6. 26

5月の末に園舎北側のフェンス沿いに古タイヤを使って花壇を作り、ヒマワリとコスモスを植えました。1か月近く経ち、ヒマワリは50センチ程度に成長し、つぼみができているものもあります。コスモスも30センチくらい伸び、こちらもつぼみがついているものがあります。まだ6月でつぼみが付くのが早すぎるような気がします。私はヒマワリは1メートル以上伸びてからつぼみが付く、コスモスはまだまだ先、と思っていたのですが、今後の成長を楽しみにしたいと思います。



○ プール開きをしました。

23日(火)の午前、園舎2階ホールに年少以上の子どもたちが集まって、プール開きを行いました。私からプールでの水遊びについて「先生の話をよく聞くこと」「水遊びは楽しいけど、気をつけないと危ないこと」について話をした後、準備運動をして年少から順番にプールに入って、水遊びをしました。天気がよくて、絶好のプール日和でした。子どもたちは水の感触を存分に楽しんでいました。



ところで、昨年度まではプールでの水遊びは年少から年長まで、それぞれ2クラス合同で行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1クラスごとに行うことにしました。子どもたちの安全確保のために、担任とチーム保育の先生と一緒に私もプールサイドで子どもたちの見守りをすることにしました。せっかくですので、できるだけ子どもたちの様子を写真に撮って「園長につき」でお伝えしたいと思います。

○ 歯科検診がありました。

24日(水)に歯科健診を園医さんに来ていただいて、2階ホールで行いました。0歳児から診ていただきました。中には怖がって泣く子どももいましたが、無事終了しました。虫歯などの異常があった場合にはお知らせしますので、早めの歯科受診をお願いします。

○ お知らせ

本紙No.1 1でお知らせしましたが、0・1歳児クラスで感染性胃腸炎で欠席していた子どもたちは、今週全員回復し、登園してきました。

園としても、集団食中毒の可能性もあることから、市保健所と連絡を取り合いながら、関係職員や調理場の調理員の便検査及び過去2週間分の給食食材の検査を行いました。保健所からは今回のケースは食中毒ではなく感染症との判断がなされました。保護者の皆さんにはご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。園としては、今後も衛生管理に留意し、子どもたちにとって安全・安心な保育を行ってまいります。

感染性胃腸炎はこの時期、多発しやすいので、ご家庭でも十分ご注意ください。

○ 私の園経営方針

6月が終わります。遅くなりましたが、私の清武みどり幼稚園経営方針について、書かせていただきます。私が園経営を通して、どのような子どもたちを育てていきたいのかをご理解いただき、これからの園の教育・保育活動にご協力いただければ幸いです。また、私の考えや園の状況等に対して保護者の皆さんからのご意見もいただき、よりよい園にしていきたいと思っています。

私は、4月からこれまで子どもたちの様子を見てきて、あいさつが素晴らしいなあ、と感じています。友達とも仲良く過ごし、年上の子どもが年下の子どものお世話をしている姿もよく見かけます。運動会の練習も暑期中、よくがんばったと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が解除されてからは欠席者も少なくなり、6月に入ってからほぼ一桁で推移しています。

宮崎学園の建学の精神は「礼節・勤労」～礼節を重んじ 勤労を尊ぶ～です。「礼節」は、人がお互いを思いやり、自分を大切にするとともに他を重んずる精神。つまり、思いやりの心です。「勤労」は、心身を労して勤めに励むことであり、何事においても意を尽くし、力を尽くして努力すること。つまり、やるべきことをあきらめずがんばる強さです。

また、園の教育・保育目標として、「きまりよく (躰の教育と生活指導)」「なかよく (和の教育)」「ありがとう (感謝の念を培う)」です。

そこで、この建学の精神と教育保育目標を踏まえて、「命」「夢」「心」の3つをキーワードに、子どもたちのよさをさらに伸ばしながら、健やかな成長を目指して園経営に取り組んでいきます。

命 = 「心身の健康に気をつけ、自他の生命を大切にする態度」を育みます。

教育・保育を進める上で、子どもたち一人一人に「命」の大切さを伝えていきます。

保護者の皆さんからいただいた大切なたった一つの命。この命は自分一人だけの命ではなく、保護者の皆さんの命でもあるという意識をもたせます。そして、自分の命と同様に、周りの人の命も大切にしようという意識を高めさせたいと考えます。そのために「自分の命は自分で守る」「自分の健康は自分で守る」という主体的な態度をしっかりと身に付けさせていきます。

夢 = 「かなえたい目標をもち、その実現に向け努力する行動力」を育みます。

せっかく保護者の皆さんからいただいた「命」です。毎日を大切に有意義なものにしてほしいと思います。そのための手段として、子どもたちに夢をもたせたいのです。夢は、子どもにより様々です。同じ子どもでも、成長や状況により夢は変わっていきます。夢は変わってもよいと思います。とにかく、具体的であれ、漠然としたものであれ、今、自分はどうありたい、何になりたい、何ができるようになりたい、という夢をもたせることが、今をしっかりと生きるうえで大切だと考えます。将来、子どもが自立して自分の人生を生き抜く力の素地を今から少しずつ身に付けさせていきたいと思っています。

心 = 「逆境に負けない強い心と、他を思いやる優しい心」を育みます。

年中、年長の子どもたちがミニトマトやピーマンを育てています。また、年長の子どもたちは毎日交代で靴箱の掃除をしてくれています。うれしいことです。また、水遊びも始まりましたが、顔を水につけることに抵抗感のある子どももいますが、水遊びを通して、少しずつ水に慣れさせたいと思っています。このような思いやりの心や、できないことをできるようになりたい、という強い心を育みます。

この「心」は宮崎学園の建学の精神と、みどり幼稚園の教育・保育目標と一致していますので、特に力を入れていきたいと考えています。具体的には全ての子どもたちが「礼節」では元気なあいさつができるようになる、「勤労」では後片付けができるようになる、を目標にします。具体的な子どもたちへの話は、これから少しずつしていきます。

保護者の皆さんのご理解とご協力をよろしく申し上げます。